

鳥取市議会文教経済委員会会議録

会議年月日	令和5年3月15日（水曜日）		
開 会	午後0時56分	閉 会	午後2時40分
場 所	市役所本庁舎7階 第2委員会室		
出席委員 (8名)	委員長 浅野 博文 副委員長 金田 靖典 委 員 中山 明保 加嶋 辰史 米村 京子 吉野 恭介 石田憲太郎 岡田 信俊		
欠席委員	なし		
委員外議員	なし		
事務局職員	議事係主任 橋本 圭司	調査係主事	福田 佳菜
出席説明員	<p>【経済観光部】</p> 経済観光部長 大野 正美 次長兼経済・雇用戦略課長 渡邊 大輔 経済・雇用戦略課課長補佐 黒田 洋太 経済・雇用戦略課市場開拓係長 岩崎 勝紀 経済・雇用戦略課雇用政策係長 保木本 淳 企業立地・支援課長 西田 茂樹 企業立地・支援課参事 綱田 正 企業立地・支援課課長補佐 太田 順二 観光・ジオパーク推進課長 平井 宏和 観光・ジオパーク推進課参事 米澤 裕治 観光・ジオパーク推進課課長補佐 西垣 拓二 観光・ジオパーク推進課観光振興係長 川口 隆 経済観光部参事 前田 武志 鳥取市関西事務所長 林 公博		
	<p>【農林水産部】</p> 農林水産部長 田中 英利 農政企画課長 山川 泰成 農政企画課課長補佐 蔵増 達弘 林務水産課課長 山口 真二 林務水産課課長補佐 西谷 直之 農村整備課長 坂本 武夫 農村整備課課長補佐 大和谷雅人		
	<p>【農業委員会】</p> 事務局 長 谷口 博信 局長補佐 田中 陽一		
傍 聴 者	2人		
会議に付した事件	別紙のとおり		

文教経済委員会に切換え 午後 0時56分 開会

◆浅野博文委員長 文教経済委員会を開会します。

【農林水産部・農業委員会】

◆浅野博文委員長 農林水産部・農業委員会の審査に入ります。初めに田中部長に御挨拶をいただきたいと思います。

○田中英利農林水産部長 失礼します。農林水産部長田中でございます。よろしく申し上げます。

本日は、先日の3月1日に説明させていただきました議案第44号と52号の2件と、また、追加提案いたしました議案第58号令和4年度鳥取市一般会計補正予算の審査をお願いいたします。補正の内容ですが、令和5年1月24日以降の大雪によりまして被害を受けた農業施設ハウスの撤去及び復旧を行う農家に対しまして支援するものでございます。次に農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集状況についての報告を1件させていただきます。その後、予算審査特別委員会の分科会ということで、来年度の当初予算につきましては、先日説明させていただいておりますので、本日は質疑をお願いしたいと思います。それぞれ詳細につきましては担当課長のほうから説明させていただきますので御審議のほどよろしくをお願いいたします。

◆浅野博文委員長 審査に先立ちまして申し上げます。質疑及び説明、答弁は簡潔にさせていただきますよう、執行部及び委員の皆様をお願いします。

議案第44号鳥取市地域活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について及び議案第52号財産の無償譲渡について（質疑・討論・採決）

◆浅野博文委員長 それでは議案審査に入ります。

議案第44号鳥取市地域活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について及び議案第52号財産の無償譲渡についてを一括して議題とします。

本案に対する質疑を行います。質疑のある方は挙手をお願いします。はい、石田委員。

◆石田憲太郎委員 もうほんとにもう基本的なことで、すみません。ちょっと聞かせてください。それぞれこの建物の耐用年数って、これ何年で設定されておりましたっけ。

◆浅野博文委員長 しばらくお待ちください。じゃあ、後ほど。

そのほかございますでしょうか。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆浅野博文委員長 次に進んでもよろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆浅野博文委員長 はい、以上で質疑を終結します。

討論、採決は1議案ずつ行います。

まず、議案第44号鳥取市地域活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部改正についての討論に入ります。討論はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆浅野博文委員長 なしと認め討論を終結します。

これより議案第44号鳥取市地域活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部改正についてを採決します。本案に対し賛成の方は挙手を願います。

[賛成者挙手]

◆浅野博文委員長 挙手全員と認め本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に議案第52号財産の無償譲渡についての討論に入ります。討論はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆浅野博文委員長 よろしいですか。なしと認め討論を終結します。

これより議案第52号財産の無償譲渡についてを採決します。本案に対し賛成の方は挙手を願います。

[賛成者挙手]

◆浅野博文委員長 はい、挙手全員と認め本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第58号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち所管に属する部分（説明・質疑・討論・採決）

◆浅野博文委員長 次に追加提案分の議案審査を行います。

議案第58号令和4年度鳥取市一般会計補正のうち、所管に属する部分を議題とします。

執行部より説明をお願いします。はい、山川課長。

○山川泰成農政企画課長 農政企画課山川です。追加補正の説明の前に、先ほど石田議員から御質問いただきました耐用年数ですけれども、木造が40年で、非木造が50年という設定になっているようです。以上でございます。

それでは追加補正につきまして御説明申し上げます。本日、資料4と資料5をお配りしております。予算書は13ページ、事業別概要は7ページでございます。令和4年度雪害園芸施設等復旧対策事業費として654万4,000円のお願いをしております。資料5の3ページを御覧いただきたいと思っております。1月24日からしばらく大雪が降りまして、一部農業用ハウス等農業用施設に倒壊等の被害が発生いたしました。これらの施設を撤去や復旧等について支援を緊急に行うというものでございます。今回対象とさせていただいたのは、用瀬の宮原にありますハウスが2棟、それから果樹棚が、佐治が1件と用瀬が1件をこの追加補正の対象とさせていただいております。御覧いただいた場所に、国道沿いにごさいますして、写真のとおり被害状況ということでございます。こちらにつきましては県市で協調して支援をすることとしておりまして、県3分の1、市6分の1で、通常のこういった気象災害等による被害はこのスキームでやらせていただいておりますが、今回もそのスキームを使いまして、県市で協調してさせていただいております。

今回654万4,000円、ほとんどハウスの被害が主なものになりますが、時期も時期ですし、全額繰越しをさせていただいて、新年度早々から着手していただくということにしております。予算書のほうでは14ページに繰越明許費ということで計上させていただいております。簡単でございますが、以上で説明を終わらせていただきます。

◆浅野博文委員長 はい、御説明をいただきました。

本案に対する質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 加嶋です。1点だけ、歳入のところなんですけども、地方交付税が218万2,000円上がっていて、それが一般財源としてなってるんですけども、これって雪害に対することでもらえるものなのか、どういった性質のものなのか、その点教えてください。

◆浅野博文委員長 はい、山川課長。

○山川泰成農政企画課長 農政企画課山川です。こちらにつきましては通常の一般財源ということで、特別にその交付税を当てているというものではございません。以上です。

◆浅野博文委員長 はい、加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 説明ありがとうございます。そうしたら予算書のほうについて218万2,000円の地方交付税というのは、特段、農林水産業費のために出てきたものではないということいいですかね。

◆浅野博文委員長 はい、山川課長。

○山川泰成農政企画課長 農政企画課山川です。失礼いたしました。特別交付税が当たっているということで、そちらを通常一般財源、通常の財源になりますけども、特定財源扱いでこちらのほうに充ててるということで御理解いただきたいと思えます。以上です。

◆浅野博文委員長 はい、よろしいですか。そのほかございますか。はい、中山委員。

◆中山明保委員 中山です。雪害で補正ということで、それはもういいんですけども、補助率が県が3分の1、市が6分の1ということなんですけど、実際の全被害がほかにハウスの倒壊等があって申請ができないと、自己負担があるためにというような事例がないのかなと思ったので、全体の被害の中でこの対象外の方がおられるのかどうか、そこをちょっと伺います。

◆浅野博文委員長 はい、山川課長。

○山川泰成農政企画課長 農政企画課山川です。このたび、1月24日からの大雪に関しては取りあえず被害が判明したものだけ今回計上させていただいておまして、雪解けの状況によって佐治の辺りとかも恐らくこれから被害が出てくるんだろうなと思います。それで補正予算編成後もぼろぼろと被害の報告が上がってきたりしてもおまして、またそういったものも含めて、改めてこの枠内でまた、繰り越した上で枠内で収まればその予算でいいんですけども、また足りないようでしたら、また追加で補正をさせていただくみたいな段取りになるかなと考えています。以上です。

◆浅野博文委員長 はい、中山委員。

◆中山明保委員 はい。よろしくお願ひします。以上。

◆浅野博文委員長 はい、そのほかございますか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆浅野博文委員長 以上で質疑を終結します。

討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆浅野博文委員長 よろしいですか。なしと認め討論を終結します。

これより議案第58号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分を採決し

ます。本案に対し賛成の方は挙手を願います。

[賛成者挙手]

◆浅野博文委員長 挙手全員と認め本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

令和5年陳情第5号政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める意見書の提出を求める陳情について（質疑・討論・採決）

◆浅野博文委員長 続きまして陳情審査に入ります。

令和5年陳情第5号政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める意見書の提出を求める陳情を議題とします。

本陳情につきまして、委員の皆様より御意見を申し上げます。はい、岡田委員。

◆岡田信俊委員 前回も少し触れさせていただいて同じようなことになるんですけども、食料自給率の向上というのは本当に課題であって目指さないけんところではあるですし、ウクライナ問題なんかが起こると特に感じるころではあるんですけども、この中の輸入を中止することというような文言がある中で、やっぱりこの他国との契約交渉とか協議とかがあって成り立っているという、輸入や輸出の量が今、成り立っているというところに、自給率アップは分かるんですけども、じゃあ輸入をストップするとかということにはならんと思うんです。いろんなバランスがあって成り立っているということがあるんで、気持ちはすごく分かるんですけども、やはりちょっとこれは採択ということにはできんのかなというふうに思います。以上です。

◆浅野博文委員長 はい、そのほかございますか。はい、金田副委員長。

◆金田靖典副委員長 せっかくですから少し教えてやってください。昨年からの燃油価格が上がったり、飼料、肥料上がってという中で、一定の、県も含めての国県からの支援はあったわけですけども、今年度、何かそういう形での飼料、肥料に対する補助というようなことは、新たに補正とか来年度予算の中で何か仕掛けが、国県市含めてどういう形で取り組まれるのか教えてください。それから、この前、特別支払交付金のことをお尋ねしたら、あまり大した対応はないというようなことだったんですけども。要するになされてないと。ええ、ええ、そうですよ、あなた以外聞くもんじゃないからね。

それから、アメリカやEUはね、価格所得保証というようなことをされてるんですけども、日本の場合にはその辺りが非常に弱いと言われているんですけども、特にそういうところで特徴的なことを幾つか教えていただければというふうに思います。

それからミニマム・アクセスのところウルグアイ・ラウンド以降ずっとこれが続いているわけですけども、令和4年度分の産米のミニマム・アクセスの輸入の単価というのが分かれば、今どういう形になっているのか教えていただければと思います。よろしく申し上げます。

◆浅野博文委員長 はい、山川課長。

○山川泰成農政企画課長 農政企画課山川です。お答えできる範囲かどうか分かりませんが、いろんな農業を取り巻く環境が変わる中で、肥料とか飼料とかの支援というのは今後も多分継続してあるというふうに考えています。実際、詳細な詰めはまだできておりませんが、

恐らく今後近いうちに、近いうちというか早いうちに、新年度ですけども、何らかの対策が国のほうからも示されるでしょうし、県市もそれに続いてやることになるのかなというふうな想定はしている状況でございます。

それから、特徴的なことと言われましたですかね。どういった。所得保証みたいな話ですかね。この辺は私もちょっと勉強不足なところもございますが、私のイメージとしては、そういう諸外国で政府の保護でしっかりと一定の所得をカバーできるだけの制度が、何十年とわたって確立されているといえますか、日本のように、今いろんなことが起きてから対処的なことでやるというのではなくて、しっかりと最低限の収入が確保できるだけの制度が国としてあるのかなというふうな印象を持っているというところでございます。ちょっと具体的な事例について私もあまり詳しくはございません。すみません。

あと、ミニマム・アクセス米の単価ですけども、2021年ですけど、60キロ当たり1万3,716円という数字が出ているようでございます。陳情の中にも少し、1万4,000円というふうな記載も入っているようです。簡単ですけど以上でございます。

◆浅野博文委員長 はい、金田副委員長。

◆金田靖典副委員長 ありがとうございます。いずれにしてもこの陳情項目の中身というのはね、確かに外国との貿易の協定であるとか、それから近場で言えばTPPで完全撤廃の動きがあった中で、大変厳しい中に置かれている中でこの4項目というのはやっぱり国がきちっと保証すべきだというふうなことなので、やっぱりこれはちゃんと国に対して上げるべきだろうなというふうな意見として申し上げて、討論は討論でね、意見として申し上げておきたいと思います。

◆浅野博文委員長 はい、そのほかございますか。はい、石田委員。

◆石田憲太郎委員 この陳情でありますけども、陳情項目4項目あるわけでありまして、やっぱり文面審査というところの中で、1番とか、燃油価格、飼料、肥料云々というところについては、これは十分理解もできますし、この辺りは必要なことであろうと思います。中には全くそのとおり必要だと思われるところもあるわけでありまして、全体を見たときに、特に岡田委員もおっしゃられましたけども、4番のミニマム・アクセス米のこと、それによって輸入を中止することということで求めておられますけども、やはりもうちょっとここにつきましては、やっぱり国際ルールとして、それが得られているものについて、これを中止をするということについては、やっぱりなかなか困難であろうというふうに思っておりますし、これを国に対して、国際ルールの部分についてを中止しなさいと求めることについてはいかがなものかというふうに思っております。はい。意見です。

◆浅野博文委員長 はい、そのほかございますか。はい、吉野委員。

◆吉野恭介委員 世界の人口が80億人を昨年末に超えたということで、さらにどんどん増えていくんだということであります。食料や水、エネルギー、住宅、いろんなものの生活に欠かせない資源の不足というのは、これからどんどん出てくるんじゃないかなと思います。その中でも、世界では8億約3,000万ぐらいの方、10人に1人が飢餓に直面しとるということで、本当に食料の自給自足ということは我々の本当に問題として捉えていかないけんでないかなと思います。

日本の農政の憲法と言われる法律で食料・農業・農村基本法の改正に政府が動き出しているということであります。1年くらいかけて法律の改正の方向性が出されるような情報をいただいております。

昨年6月ですけれども、閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2022、いわゆる骨太の方針の中でもいろいろたわれております。私は農産物の生産者でもない、消費者の1人ということで、農業経営の本当の苦しみというのは分かっておりませんが、意見書の趣旨は本当によく分かります。ですから、先ほど政府の話も言いましたけど、政府もやる気を出しとるということで、意見書を上げてどうこうということは拙速すぎるんじゃないかなと思っております。意見です。

◆浅野博文委員長 そのほかございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆浅野博文委員長 それでは討論に入ります。討論はありませんか。はい、金田副委員長。

◆金田靖典副委員長 それでは、金田ですけど、口火を切って。長くはウルグアイ・ラウンドでそれこそミニマム・アクセスを買うということで、実は1月30日に試食用のSBS売買同時入札の輸入米でアメリカ産が1トンなんと3万円の落札ということで、これを54万トン入るということがどうも国が決めたようです。昨年の星見議員の一般質問の中でも、今、県内のお米は1万円だと、1万円を切っちゃってるんだと。これではもう農業できないというような形でね、あれだけ痛切に訴えられていたのが、アメリカ産米に関しては3万円で落札というようなことが今のアクセス米の実態になってるわけです。やっぱり先ほど政府もやろうとしてるとは言っとられるけども、やっぱりこれでは日本の農業というのはやっていけない。それから、農業しなくても菜園されると多分お気づきのことだと思いますけども、肥料なんかほとんど外来もんだし、種がないしね、みんな外国から入ってくるということで、カロリーベースで37%の自給率と言われとるけども、実質的にはもう10%になってないというのが今の日本の自給率になってるんですね。だから、そういう面でもやっぱりきちっとSDGsじゃないですけども、日本自体が持続可能な国になるためにも、こうした国がちゃんと責任を持ってこの4項目に関しては取り上げるべきだということで意見を提出するべきだということで賛成討論とします。以上です。

◆浅野博文委員長 はい、加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 加嶋です。反対の立場で討論いたします。陳情項目の全てには賛同しかねるため意見書の提出に反対の立場であります。以上で討論終了です。

◆浅野博文委員長 そのほかございますか。はい、石田委員。

◆石田憲太郎委員 先ほど意見でも申し上げました。趣旨は一緒でありますけれども、食料自給率の向上等、中身についてはかなり必要であろうと思われる項目は多々あるわけでありまして、やはり出てる陳情項目の文面、文面審査という点で言えば、やはりちょっとその④の部分については先ほども申し上げましたように、やはり国際ルールの下で決まるとすることについては、これを今、国のほうに対して、これを中止をなさいというふうな形で求めることについては、私はいかなるものかと、それはできないのではないかなというふうに思っております。この陳情

者の思いも、思いと言ってもやっぱりこの文面でしか計り知ることはできませんので、この4番目を求められてる以上はちょっとこれの採択というのは難しいというふうに思っておりますので、私はこれに対して反対とさせていただきます。

◆浅野博文委員長 はい、そのほかございますか。はい、吉野委員。

◆吉野恭介委員 私も趣旨はよく分かります。1番の燃料のこと、飼料のこと、肥料のこと、生産資材のことについても、それぞれ国が具体的に動き出そうとすると、肥料について言えば堆肥、稲わらの国内資源を最大限活用するであるとか、飼料については自給率を高めるために国産飼料の増産、利用拡大、そして燃油価格については省エネ型の設備を導入支援というようなことも向かっておられるというふうに思っております。ここはしっかり見ていかないといけないと思いますが、1番、2番、3、4についても、ほかの方が意見言われましたので、私はじゃあ、1番のことについて言わせていただきました、ということで反対です。

◆浅野博文委員長 はい、そのほかございますか。米村委員。

◆米村京子委員 私のほうもこの文面に対して、最後の輸入を中止するということに対してのこの文言に対して、あくまでも反対しますので、この案件に関しては反対ということでございます。

◆浅野博文委員長 はい、中山委員。

◆中山明保委員 中山です。私も岡田さん、吉野副議長、言われたように同感でございます、石田さんも言われましたし、反対です。以上です。

◆浅野博文委員長 はい、じゃあよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆浅野博文委員長 そうしましたら採決に入りたいと思います。

これより令和5年陳情第5号政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める意見書の提出を求める陳情を採決します。本陳情の採択に賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

◆浅野博文委員長 挙手少数と認め本陳情は不採択とすることに決定しました。

それでは不採択理由について御確認いただきたいと思えます。不採択理由はいかがでしょうか。

そうしましたら反対討論の中でもありましたけども、陳情項目に賛同できないとか、そういった理由でよろしいですかね。はい、加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 加嶋です。反対討論それぞれあった中からその内容をまとめられて委員長、副委員長に一任ということでどうでしょうか。

◆浅野博文委員長 今、加嶋委員からもありましたけど、委員長、副委員長に一任ということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◆浅野博文委員長 はい。

農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集状況について（説明・質疑）

◆浅野博文委員長 続きまして報告に入ります。

農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集状況についての御報告をお願いします。はい、山川課長。

○山川泰成農政企画課長 農政企画課山川です。それでは報告を1件させていただきたいと思えます。資料5の4ページでございます。12月に定数の件で御説明差し上げましたが、現在農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集をしております。現時点での応募状況につきまして御報告差し上げます。まず、2月1日から3月1日まで募集を行いまして、農業委員につきましては御覧のとおり、定数19名に対しまして計24名の応募がございました。また、農地利用最適化推進委員につきましては定数48のところでございますが、14地域50地区から合計38名の応募があったというところございまして、農業委員につきましては定数を充足しておりますので審査で選任ということになっておりますし、農地利用最適化推進委員につきましては定数に満たないということで現在3月2日から3月31日まで再募集を今、かけているという状況でございます。今後の予定としましては4月、5月に選定委員会を行い、6月の定例会で選任についての議案を提出したいと考えているところでございます。それで、7月20日の任期から活動していただくというような予定になっております。現在の募集状況ということで、簡単ですが説明を終わらせていただきます。

◆浅野博文委員長 はい、御報告いただきました。

委員の皆様から質疑、御意見などございますか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆浅野博文委員長 それでは文教経済委員会を一旦休憩とし、予算審査特別委員会に切り替えま

す。

予算審査特別委員会文教経済分科会に切换え 午後1時31分 休憩

文教経済委員会に切换え 午後2時34分 再開

◆浅野博文委員長 文教経済委員会を再開します。

【その他】

令和5年度文教経済委員会視察について

◆浅野博文委員長 その他といたしまして令和5年度文教経済委員会視察についてに入ります。

本日は視察テーマ、視察先について協議を行います。御意見をお願いいたします。はい、加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 加嶋です。今日、この場であれかなとは思うんですけど、ちょっと農林水産省の事業を調べてきたので配布だけさせていただけたらと思います。

◆浅野博文委員長 はい、どうぞ。じゃあ、加嶋委員のほうからちょっと一言ありますか。

◆加嶋辰史委員 はい。加嶋です。すみません。ちょっと場所が北陸ベースにはなっているんですけども、先行事例が平成20年代からされてるスマート農業のことで、それが10年近くた

ってるものもあるので、本当にうまくいったかどうか、途中で悪くなったら、それも研究になるのではないかと。うまくいったら、うまくいったで鳥取市がまねをしてもいいわけだし、駄目だったら駄目だったで、その駄目になった理由を知ることが、これからの事業のものになっていくのかなというふうに考えて、あくまで農政企画の部門にはなるんですけども、そういったところです。当然、明日の教育委員会とか、各方面も見ていかないといけないので、どうしてもここというわけではないんですが、ちょうど頃よく時間がたってるので成果が聞けるのではないかなというところです。以上です。

◆**浅野博文委員長** この富山とかもありますね。新潟もありますね。これは農林水産部の関係でよろしいですかね。そのほかにね、経済観光とか、文教は明日も教育委員会のほうもありますけども、そちらのほうで、ほかに御意見とかもありますでしょうか。

◆**浅野博文委員長** 挙手をしてお願いします。改めまして御意見ございますか。はい、吉野委員。

◆**吉野恭介委員** すみません。全然調べてなくて、教育も含めて明日もう一度同じような会議を持っていたらと思いますし、昨日だったか一昨日だったか、本当に全自動で野菜を、スマート農業の関係ですね、作られとる、海外だったかも分かりません。本当にオール自動で、何か段数が結構、何階建てみたいな感じの、エレベーター方式みたいな感じの作り方をされ、水耕栽培だったと思いますけど、本当に人が全然いないっていうようなスマート農業のやり方、日本のメーカーだったと思います。そんなところを情報をちょっともう1回仕入れてみたいなって、ちょっと思いました。

◆**浅野博文委員長** はい、今、吉野委員からもありましたけども、私も多分、それ少し見まして、野菜工場、何か埼玉の会社だったか何かだと思んです。ちょっと場所がね、日本なのか、それもちょっと確認してないですけども、そういったことも含めて、どうですか、橋本さん、明日、また再度ということで、加嶋委員の御意見と、あと、僕のほうも、この行政視察のランキングみたいなのを引っ張り出して見たりもしたんですけども、なかなかこれっていうのがなかなかないのもありますし、ちょっと僕のほうも個人的に興味があるのも一応は目ぼしいのはピックアップはちょっとしてるんですけども、それがふさわしいかどうかというのは分かりませんので、また、明日までにまたありましたら、またこの場で御意見をいただいて、また検討させていただこうかなと思いますので、それでよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆**浅野博文委員長** その他なければ、よろしいですかね。以上で全ての日程を終了しましたので文教経済委員会を閉会します。明日は教育委員会の審査を行いますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

午後2時40分 閉会

文教経済委員会・ 予算審査特別委員会 文教経済分科会 日程

日時：令和5年3月15日（水）10：00～

場所：7階 第2委員会室

経済観光部 (10：00～)

----- <予算審査特別委員会 文教経済分科会> -----

◎議案【質疑】

議案第 1号 令和5年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第 3号 令和5年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算

議案第10号 令和5年度鳥取市温泉事業費特別会計予算

議案第11号 令和5年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算

◎分科会長報告の取りまとめ

農林水産部・農業委員会 (経済観光部終了後)

----- <文教経済委員会> -----

◎議案【質疑・討論・採決】

議案第 44号 鳥取市地域活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

議案第 52号 財産の無償譲渡について

◎議案（追加提案分）【説明・質疑・討論・採決】

議案第 58号 令和4年度鳥取市一般会計補正予算（第11号）【所管に属する部分】

◎陳情【質疑・討論・採決】

<新規>

令和5年陳情第5号

政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める意見書の提出を求める陳情

◎報告

農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集状況について

----- <予算審査特別委員会 文教経済分科会> -----

◎議案【質疑】

議案第 1 号 令和 5 年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

◎分科会長報告の取りまとめ

----- <文教経済委員会> -----

その他

令和 5 年度文教経済委員会視察について